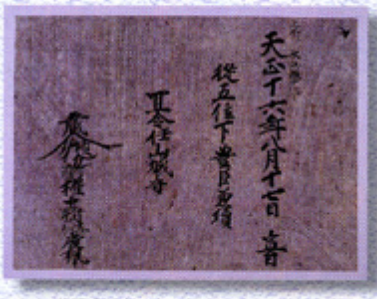
特別展

直江兼続

直江兼続は執政という立場で、越後の戦国大名から米沢藩初代藩主となる上杉景勝を一貫して支え、上杉氏そして米沢の発展・安定に努めてきました。それは各地に戦国大名が割拠した時代から天下統一が完成されていく時代でした。景勝そして兼続は、そのような変革していく時代の最前線を生き、時に歴史を大きく動かす役割も果たしました。本展覧会では、上杉氏存続の、そして米沢藩の基礎を築いた兼続の生涯をゆかりの文化財を通して紹介していきます。兼続の活動をできる限り具体的に紹介していきたいと思います。

また、文武両道の典型とも評されるその人物像にも迫り、学問や生活の一端を垣間見られるような資料も展示して兼続の人物像を広く紹介していきたいと思います。

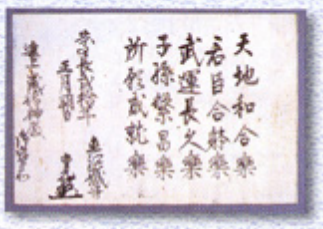


後陽成天皇口宣案（米沢市上杉博物館）

「直江兼続像」（林泉寺）

「浅葱地花葉文緞子胴服」（上杉神社）

国宝「宋版史記」（国立歴史民俗博物館）



直江兼続五楽図書（米沢市上杉博物館）

◆主な展示資料（所蔵不記載は上杉博物館蔵）

前後期の展示

国宝「宋版史記」（黄善夫刊本）
国宝「宋版漢書」（慶元刊本）
国宝「宋版後漢書」（慶元刊本）
重要文化財「宋版備急千金要方」（金沢文庫本）
（国立歴史民俗博物館・前後期で展示する冊子を替えます）
山形県指定文化財
「浅葱糸威錆色切付札一枚胴具足」（宮坂考古館）
「金茶糸威最上胴具足」（上杉神社）
「直江状　承応三年版本」
（東京大学総合図書館・前後期で展示箇所を替えます）
「奥羽永慶軍記」（東京大学史料編纂所・前後期で展示の冊子を替えます）
「亀ヶ崎城出土遺物」（財）山形県埋蔵文化財センター）

前期のみ展示

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」～後期は複製
重要文化財「越後文書宝翰集」「築地氏文書」第三巻
（天正十二年）四月二十五日付上杉景勝書状（新潟県立歴史博物館）
酒田市指定文化財
（慶長五年カ）三月二十九日付築地修理宛直江兼続書状（本間美術館）
「直江重直旗」（個人蔵）
天正八年七月十七日付上杉景勝過所（樋口兼利氏）
（天正十五年）三月十九日付伊達政宗宛直江兼続書状（仙台市博物館）

後期のみ展示

重要文化財「浅葱地花葉文緞子胴服」（上杉神社）
重要文化財「越後文書宝翰集」「色部氏文書」第十巻
天正十八年十月二十日付直江兼続年貢覚書（新潟県立歴史博物館）
「直江兼続像」（林泉寺）
（天正十年）八月二日付築地修理亮宛直江兼続書状（長岡市立中央図書館）
（年未詳）九月晦日付直江景明宛直江兼続書状（市立米沢図書館）

料　金

前期：4月14日～5月6日

種　別	常設展	特別展	セット
一　般	400円（320円）	500円（400円）	700円（560円）
高校・大学生	200円（140円）	350円（280円）	450円（360円）
小・中学生	100円（60円）	250円（200円）	300円（240円）

後期：5月12日～6月3日

種　別	常設展	特別展	セット
一　般	400円（320円）	400円（320円）	600円（480円）
高校・大学生	200円（140円）	300円（240円）	400円（320円）
小・中学生	100円（60円）	200円（160円）	250円（200円）

※（　）は20名以上の団体料金です。

次回展覧会　「秋山庄太郎展 ―花舞台―」 2007.6.9(土)～7.22(日)

■開館時間
9:00～17:00
（入館は16:30まで）

■アクセス
JR米沢駅から2km
市内循環バス
「上杉神社前」下車
山形蔵王IC・
福島飯坂ICより
R13で50分

米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL0238-26-8001／ FAX0238-26-2660
URL http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp

置賜文化ホールからのおしらせ

お問合せ：伝国の杜置賜文化ホール　Tel. 0238－26－2666

伝国の杜 能狂言

6月17日(日)午後2時開演

わが子を失った悲哀感が、今の時代にも古びずに観客の心に伝わる不朽の名作能。

番組：**能「隅田川」** シテ観世銕之丞　ワキ宝生閑
狂言「清水」 シテ野村万蔵　アド野村扇丞

4月12日(木) チケット発売
全席指定　**一般4,800円（学生2,800円）**
プレイガイド　大沼米沢店・米沢サティ・伝国の杜